

潮流



九月二十二日に「鳥取発心のふれあいプロジェクト全国集会」が、湯梨浜町中央公民館で同町とNPO法人未来でつくる実行委員会が主催し開催されました。このプロジェクトは、赤ちゃんと高校生が継続的・体系的にふれあうことによ

松田 隆

NPO法人未来副理事長
鳥取県中部医師会副会長

系的にふれあうことによ
て、自分の役立ち感に目覚
め、心を開き、瞳輝くよう
になるコミュニケーション
授業の取り組みを広めるた
めに始まり、全国集会では
「子どもたちの心を考える
—これからの教育、これか
私自身も実行委員として多
県にも理解し、支援してい
ただいたことに感謝する一
方で、実行委員会が行政と
NPO、いわゆる官民一体
となって協働したプロジェ
クトも評価していただいた
のではなにかと思います。
され、Q&A集も出されて
います。このように「心の
ふれあいプロジェクト」は
思っています。

子どもたちの心のふれあい

らのニッポンをテーマに、
全国から二百人を超す方々
が集まり、今年の猛暑に合
わせたように熱い議論が交
わされました。

平井伸治鳥取県知事から

も電報をいただき、赤ちゃんとのふれあい会を各地で

地道に継続してきたことを

の中に、「中高生と赤ちゃん
のふれあい交流事業」が
位置づけられ、平成二十一
年までにすべての児童館で
受け入れを推進することと
され、Q&A集も出されて
います。このように「心の
ふれあいプロジェクト」は
思っています。

国の少子化対策を先取りし
た事業であり、今、社会に
最も求められているコミュニ
ニケーション能力の育成
に大きく影響を及ぼしてい
るものに、テレビやビデオ、
インターネット、ケータイ
などの電子メディアがあり
ます。しかし、この便利な
電子メディアによって、本
物を体験したり、親子のふ

れあう時間やゆっくりと考
える時間が失われます。情
報社会の中で生き抜くため
には、メディアとの接触が
不可欠ですが、子どもに限
らず大人もこの接し方を考
える必要があります。

(倉吉市)

お問い合わせは電話0855
7(26)7520、県教
委家庭・地域教育課へ。